

年月日	14	11	05	ページ	19	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

## 四フツ化エチレンで 低コスト液晶化合物

大 阪

大阪大学大学院工学研究科の生越専介教授、大橋理人講師らの研究グループは、フッ素化成品の基幹原料となる「四フツ化エチレン」から液晶化合物を合成する手法を開発した。低コストで新たな機能を持つ材料などの作製につながると期待さ

れる。四フツ化エチレンはフライパンのコーティング剤などフッ素系樹脂の原料で安価な化合物。ただフッ素系樹脂の製造に、用途が限られている。研究グループは四フツ化エチレンの分子中に含まれる二つの炭素原子に、芳香環や銅をそれぞ

れ結合させた。その結果、得られた銅化合物は銅原子を芳香環へと置き換えられたという。化合物は従来の3分の2の工程で液晶ディスプレイの素子材料となる液晶化合物に変換が可能となる。成果は米化学会誌電子版に掲載された。